

平成28(2016)年度
立命館大学 鹿児島県校友会「校友の集い」



平成28年 11月13日(日)

会場

鹿児島東急REIホテル

鹿児島市中央町5-1
TEL 099-256-0109

* タイムスケジュールはおおよその目安です

2F オリオンの間

- 14:00~ 受付
- 14:30~15:45 総会・講演会
講師
建山 和由(タテヤマ カズヨシ)氏
学校法人立命館 常務理事
- 15:45~16:00 懇親会準備(休憩)
- 16:00~18:30 懇親会

2F アルテミスの間

- 18:30~ 二次会(希望者のみ)

校 歌 作詞：明本 京静
作曲：近衛 秀磨
編曲：外山 雄三

あかき血潮 胸に満ちて
若人^{まこと} 真理の泉を汲みつ
仰げば比叡 千古のみどり
伏す目に清しや
鴨の流れの
かがみもとうとし 天の明命
見よ わが母校
立命 立命

応援歌 作詞：白井 道造
作曲：高橋 半

- | | |
|---|--|
| 1 空はさながら青春の 胸 ^{すがた} の雄図の象なり 溢るる力示すべく えんじの旗をなびかせて 堂々勝ちを争わん グレーター立命 グレーター立命 | 2 練りて金鉄ゆるみなく 山をも抜かん力湧き 不動の勝利堅持して 伝統 ^{そう} になわん雙 ^う の肩 いかで汚名わが享けん グレーター立命 グレーター立命 |
| 3 緑草 ^{かんせい} ふるう喊声 ^{しういっしょくあざ} に がい袖一触鮮やけき 圧観ひろぐ我が選手 迎うる相手色もなく 若き血汐に誇り満つ グレーター立命 グレーター立命 | 4 心と身 ^{からだ} を鍛え上げ 清き健児の火を吐きぬ 秋 ^{とき} に放たん大ゲーム 「R」の手旗をうちふるい 雄たけびおくる応援団 グレーター立命 グレーター立命 |



立命館大学鹿児島県校友会
会長 前迫 栄二郎

立命館大学鹿児島県校友会は、昨年設立40周年記念大会を開催し新たなスタートを迎えることができました。これもひとえに校友の皆様の校友会活動へのご理解とご協力の賜と改めて心より深く感謝申し上げます。

鹿児島県校友会では鹿児島県を下記のように六つの地区ブロックに分けてそれぞれに担当副会長を配しております。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 鹿児島ブロック | 鹿児島市、日置市、いちき串木野市 |
| 2. 南薩ブロック | 指宿市、南九州市、南さつま市、枕崎市 |
| 3. 北薩ブロック | 薩摩川内市、阿久根市、出水市、 さつま町、長島町 |
| 4. 始良ブロック | 始良市、霧島市、伊佐市、湧水町 |
| 5. 大隅ブロック | 鹿屋市、志布志市、垂水市、曾於市 大崎町、東串良町、肝付町、錦江町、南大隅町 |
| 6. 熊毛・大島ブロック | 離島の市町村 |

今後は「校友の集い」だけでなく、地区ブロック単位で校友交流の機会が持てる企画を考えていきたいと思っております。その皮切りとして9月には二年ぶりに鹿屋で大隅地区校友会を開催し14人の校友が集いました。

もうひとつの大きな目標として、若手校友・女性校友の活動活性化があります。大学校友会には「若手・女性校友参加促進補助制度」もありますので積極的に活用できればと考えているところです。

また、立命館九州の活動として、毎年立九会ゴルフコンペ、九州女子会ハイキング、バーベキュー大会（いずれも熊本開催、今年は熊本地震のため中止）や鹿児島県ゴルフ立同戦等の活動も行っています。活動については事前に鹿児島県校友会ホームページに掲載しておりますので、ご遠慮なく事務局へお問い合わせください。

さて、立命館大学校友会では母校と後輩の未来を校友が支える「未来人財育成基金」の募集推進に取り組んでいることはこれまでご案内した通りです。鹿児島県校友会は、福元寅典前会長（校友会副会長）が先頭に立って取り組み、校友お一人お一人に直接声掛けの結果大きな成果を上げているところですが、まだ鹿児島県の目標に達するまでには至っておりません。引き続き1口千円から毎月継続的に寄付をしていただける校友を募ってまいりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

最後に、これまで以上に元気で明るい鹿児島県校友会を目指して、皆様と共に楽しく時として汗を流しながら鹿児島立命館ファミリーの和を拡げていきたいと思っております。本日の「校友の集い」へのご参加、誠にありがとうございます。そして今後ともこれまで同様、鹿児島県校友会の活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

平成28年度 立命館大学鹿児島県校友会 総会

会次第

- 1 開会のことば
- 2 校歌斉唱
- 3 鹿児島県校友会会長挨拶
- 4 来賓紹介（順不同）

| | |
|---------------------------|----------|
| 学校法人 立命館 常務理事 | 建山 和由 様 |
| 立命館大学校友会 副会長 | 飛鳥井 雅和 様 |
| 立命館アジア太平洋大学 理事補佐 | 山神 進 様 |
| 立命館大学校友・父母課 課長補佐 | 船尾 優一 様 |
| 学校法人 東明館学園 東明館中学校・高等学校 校長 | 小島 敏夫 様 |
- 5 来賓挨拶

| | |
|------------------|----------|
| 立命館大学校友会 副会長 | 飛鳥井 雅和 様 |
| 立命館アジア太平洋大学 理事補佐 | 山神 進 様 |
- 6 議事
 - ・活動報告
 - ・会計報告、監査報告

講演会

祝辞、講演

演 題 「母校立命館の今とこれから」

講 師 建山 和由（たてやま かずよし）常務理事

学歴

1980年3月 京都大学工学部土木工学科 卒業

1985年3月 京都大学大学院工学研究科 土木工学専攻 博士課程修了
博士（工学、京都大学）

学内職歴

2004年4月 立命館大学理工学部教授

2006年4月 立命館大学理工学部副学部長

2008年4月 立命館大学 教学部長

2009年4月 学校法人立命館 総合企画室長

2011年4月 学校法人立命館 総長特別補佐

2013年1月 学校法人立命館 常務理事（教学担当）

2014年8月 学校法人立命館 常務理事（企画担当）（現在に至る）



7 未来人財育成基金について

(1)未来人財育成基金について、活用学生の紹介

(2)「未来人財育成基金の +R個人奨励奨学金 を受給して」

情報理工学部 4回生 鶴田拓也さん（甲南高校出身）

(3)鹿児島県校友会「未来人財育成基金」報告（2016年9月7日時点）

8 閉会のことば

立命館大学 鹿児島県校友会 年間活動報告

(H27.11.1~H28.10.31)

H27.11.07 (土)

鹿児島県校友会 設立40周年記念大会 (城山観光ホテル)

*吉田美喜夫総長、村上健治校友会会長、平田純一立命館アジア太平洋大学副学長等を初め、九州沖縄全県の校友会代表、関西3大学(同志社・関大・関学)ご関係者のご来賓、鹿児島県校友会校友並びに同伴者120人の総勢150人余りの関係者が出席

*10年の長きに鹿児島県校友会会長を務めた福元寅典から新会長前迫栄二郎へバトンタッチ(福元 本学校友会副会長は継続)



吉田総長(上) 村上校友会会長(下) 福元前会長(上) 前迫新会長(下)

H27.12.06 (日)

第5回 同立戦ゴルフコンペ(高牧カントリークラブ)

優勝 實方等(S48理工) グロス81、ネット71.4 *おみごとでした

*立命館からは9人が参加

右が優勝の實方校友



H27.12.21 (月)

種子田 敬 前副会長(鹿児島県神社庁長)に福元前会長、前迫新会長より感謝状を贈呈

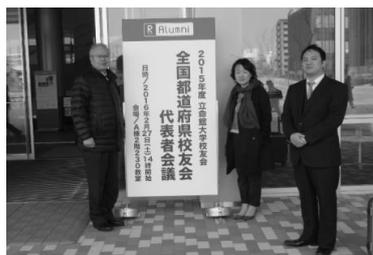


H28.02.08 (土)

本年度第1回拡大幹事会(よかセンター)

幹事会及び懇親会に、校友17人が出席

H28.02.21 (土) 2015年度都道府県校友会代表者会議 (大阪いばらきキャンパス)



*福元寅典 校友会副会長、
前迫 県会長、小林 校友、
植野 校友、事務局 梶井が出席

H28.03.18 (金) 若手校友・女性校友の会 (仮称：若手の会) (BAR LION)

* 峠坂洋昭・前山雄介校友の声掛けにより10人が参加



H28.06.09 (木) 本年度第2回拡大幹事会 (よかセンター)

H28.07.23 (土) 関西学院同窓会鹿児島支部 総会・懇親会

H28.08.31 (水) 鹿児島県校友会 役員会 (よかセンター)

H28.09.10 (土) 大隅地区校友会 (鹿屋市・千成本店)

伊崎田 副会長(大隅地区担当)の声掛けにより開催



前迫会長、福元顧問、廣庭副会長、植村副
会長、上村幹事長、飛石敏明(S31経済)、
城ノ下八郎(S46経済)、栗脇健一郎(S47法)、
伊崎田順一(S50経済)、馬場光明(S51産社)、
松島敏夫(S62経営)、森田邦弘(H9法)、
中村尚子(H12文)、松田英津子(H19経済)
の14人が参加

H28.09.10 (土) 同志社校友会鹿児島県支部 総会・懇親会 (鹿児島東急REIホテル)

* 日笠山 繁樹 副会長が出席

H28.10.21 (金) 本年度第3回拡大幹事会 (よかセンター)

* 幹事会及び懇親会に
校友19人が参加



H28.10.22 (土) 関西大学鹿児島千里会 総会・懇親会 (ジェイドガーデンパレス)

* 川窪 宏一 副会長が出席

H28.10.29 (土) オール立命館校友大会 in 金沢 (ホテル日航金沢 他)

伊崎田 副会長、上村 幹事長、峠坂 幹事 参加

校友の皆さんのご協力に感謝申し上げます

立命館大学鹿児島県校友会
平成27年度 収支報告書

自平成27年11月1日
至平成28年10月31日

【収入の部】

| 科 目 | 決算額 | 備 考 |
|-------|-----------|---|
| 前期繰越金 | 1,049,446 | |
| 総会徴収金 | 1,593,310 | 平成27年11月7日「設立40周年記念大会」(城山観光ホテル) 1,373,310(年会費・懇親会費・寄付金・広告掲載料他) 220,000(大学・校友会・APU 祝儀・賛助金) |
| 本学補助金 | 528,000 | 272,640(全国代表者会議2/27)、50,000(RFS奨励金) 205,360(オール立命館校友大会10/29) |
| 物品販売 | 250,000 | 86,000(校友 11/8、12/16、1/23、2/24、4/7、6/9,7/4,8/31,10/21) 164,000(株)ナカムラ12/25,8/1) |
| 利息・雑収 | 91 | 87(利息4/1)、4(利息10/1) |
| 収入計 | 3,420,847 | |

【支出の部】

| 科 目 | 決算額 | 備 考 |
|-----------|-----------|---|
| 総会・懇親会費 | 1,744,872 | 1,283,312 (11/7、設立40周年記念大会 城山観光ホテル) 160,000(アトラクション・司会)、129,220(校友用おみやげ) 57,000(大会誌印刷)、104,000(ご来賓会食)、11,340(感謝状) |
| 活動費(本学関連) | 340,000 | 160,000(2/27代表者会議4人分)、30,000(8/5熊本地震義援金) 15,000(10/19オール立命館校友大会3人分) |
| 活動費(県関連) | 136,143 | 11,340(渡校友お祝い花代,11/6)、15,000(実行委員打上げ補助,12/16) 2,905(脇田校友弔電)、81,720(会議費2/8,6/9,8/31,9/2,9/10,10/21) 10,000(若手の会補助,3/18)、2,127(鎮守校友弔電,5/3) 2,740(案内書作成,8/6)、10,311(同封手数料,8/29) |
| 交際費 | 23,028 | 2,127(同志社会長宛弔電)、3,000(関学総会出席7/23) 3,000(同志社総会出席9/10)、11,901(新潟県校友会9/28) 3,000(関西大学総会出席10/22) |
| 事務通信費 | 68,315 | 21,098(文具11/2,11/5,11/10,11/19,2/2,7/25,10/2)、12,470(切手等 11/10,5/12,7/19,8/3)、2,740(発送代11/11,8/29)、1,550(振込手数料 11/17,12/25,8/1,8/29)、6,115(封筒2種11/17)、16,620(FAX機器 11/17)、4,838(郵送代9/12) |
| 物品仕入 | 136,187 | 85,903(純美酢12/17)、12,571(純美酢4/7)、12,571(純美酢7/12)、 12,571(純美菓8/16)、12,571(準美酢10/19) |
| 雑費 | 3,624 | 3,024(11/2ネームホルダー)、600(11/6クリーニング代) |
| 支出計 | 2,452,169 | |

総合口座残 904,845
現金残 63,833

(収入合計) 3,420,847 - (支出合計) 2,452,169

次期繰越金 968,678

監査の結果 相当であると認めます。

平成28年10月21日

会計監査

下津昭則 

鹿児島県校友会「未来人財育成基金」報告（2016年9月7日時点）

| 一括基金 | | |
|-----------|----|----|
| 金額(円) | 件数 | 人数 |
| 3,856,000 | 61 | 55 |

| 継続基金 | | |
|-----------|-------|----|
| 金額(円) | 件数 | 人数 |
| 1,541,000 | 1,238 | 52 |

| 基金総計 | | |
|-----------|-------|----|
| 金額(円) | 件数 | 人数 |
| 5,406,000 | 1,299 | 86 |

※一括・継続共にご支援いただいている方がおられるため、総計の人数は一括と継続の人数の和と同数にはなりません。

| | | | |
|------------|---|-----------------|-------------------|
| 現在の継続基金 | ➡ | 鹿児島県校友会の目標 | 2020年3月までの |
| 52人 60口 | | 継続基金 65人 80口 | 基金総額目標 1,000万円 |

* 基金継続は原則2020年3月まで。2016年11月から残り41カ月になります。

| | | |
|----------------------|-----------|------|
| 立命館大学 (2016年5月現在) | 鹿児島県在住校友数 | 828人 |
| | 現役学生数 | 156人 |

「校友会未来人財育成基金」のご案内

校友会未来人財育成基金とは

校友会未来人財育成基金は、校友が後輩(学生)・母校をサポートする立命館ならではの支援の形です。立命館の未来を創るあなたからの贈り物(GIFT)をお待ちしています

| | |
|------------------------------|----------------------|
| 活用方針 | 次のいずれかを満たすものに活用いたします |
| (1) 学生に直接的に役立てられるものであること | |
| (2) 学生の成長過程において必要不可欠なものであること | |
| (3) 学生と卒業生が繋がるものであること | |

活用プラン

- 1 海外留学支援（留学支援奨学金）
グローバル化社会において活躍できる人材の育成を目的とします
例えば 世界大学ランキング100位以内の大学への留学に挑もうとする後輩学生への奨学金支援を目指します。
- 2 成長支援（+R個人奨励奨学金）
正規授業で培った知識・教養をもとに、主体的に未来を切り拓く目標をかけた活動に取り組む後輩学生への奨学金支援を目指します
- 3 課外活動支援
後輩学生たちが多様な能力を生かし、仲間と協働しながら高いレベルの目標を達成することを通じて人間的に成長していくための財政的支援を目指します
- 4 研究支援
後輩学生・院生の研究力向上支援を実現する研究者の任用を目指します
- 5 施設整備支援
3キャンパスで学ぶ後輩学生たちが、グローバル化社会において、学園発祥の地であり世界的歴史文化都市である京都で学ぶ機会の創出策の一環として施設整備支援を目指します

後輩支援、循環型に 大学教育充実に校友会の力

立命館大学校友会会長 村上健治

2016年8月22日 日本経済新聞



大学教育の充実のために同窓会・校友会の支援が欠かせなくなっている。立命館大学校友会の村上健治会長(元大和ハウス工業社長)は、校友会の支援を受けた学生が校友になって後輩を支える循環型支援の拡大を目指すという。

習得した知識・技能を正確に再生する能力を有した人材から、知識・技能を活用してグローバル社会で多様な人々と協働しながら最善の解を追求していく人材へ――。

グローバル化や知識基盤社会の進展に伴って、社会が必要とする人材像は急速に変化しており、人材育成を担う大学はこうした変化への迅速な対応を迫られている。

そこで各大学は、従来の受動的な学びから、アクティブ・ラーニングなどの能動的な学びへと教育の質的転換を図るとともに、日本人学生の海外留学促進や海外からの留学生の受け入れに取り組んでいる。

ただ、こうした取り組みはコストがかかる。アクティブ・ラーニングの効果的な展開には、学生が自由に学べる空間(ラーニング・コモンズ)などの施設整備が必須だし、海外留学の促進や留学生の受け入れには多額の奨学金の準備が必要である。収入の大半を学費に依存する私立大学は安易な学費値上げはできず、限られた収入の中での対応は容易ではない。

学生にとっても問題は深刻だ。「私立大学学生生活白書2015」(日本私立大学連盟)によると、学生の海外留学への興味・関心は低くないが、実際に留学するのは8.3%。最大の障壁が「留学資金がない」(48.8%)ことだ。

少子高齢化で生産年齢人口が減少していく日本において、時代が求める人材を育成し社会に排出する責任が大学にはある。とりわけ学生の80%が通う私立大学の責任は大きい。大学の最愛のステークホルダーとして、今こそ私立大学の校友会は、その役割を明確にして、効果的な母校後輩学生支援策を講じていかねばならない。

このような観点から、立命館大学・大学院の卒業生・修了生で構成する立命館大学校友会(約35万人)が、母校と課題を共有しながら取り組んでいるのが「校友会未来人財育成基金」の募集推進事業である。一口千円から毎月継続的に寄付をしてくれる校友有志を募り、集まった寄付を母校の改革課題に合わせて活用することで、積極的に母校の改革を支えていく取り組みだ。

2012年度から始めた制度だが、個人による恒常的な寄付文化が根付いていない日本では、逆風下の船出だった。趣旨に賛同する校友は少なくないのに、実際に寄付をしてくれる校友の輪はなかなか広がらない。

転機となったのは、1人の女子学生の活動だった。彼女は11年にボランティア活動で訪れたケニアで、貧困が理由で生理用品を買えない女性たちに出会った。生理の度に授業を休み、勉強が遅れて退学を余儀なくされ、安定収入が得られる職業に就けず、貧困から抜け出せない女性たち……。

衝撃の現実を前に「この負の連鎖を断ち切るために、学生の自分にできることは何だろうか」を考え抜いた彼女は、日本とケニアを行き来し、支援者を募りながら現地の女性たちと力を合わせて布製の生理用品を作って配り、教育機会を保障する行動を起こした。

15年1月、卒業前の最後のケニア訪問にあたり、彼女は校友会に渡航費の支援を依頼した。彼女の活動に感銘した校友会は、この女子学生のように「信念に基づいて果敢に未来を切り開こうとする学生を支援しよう」と決めた。

これ以来、私たちは母校が学生の主体的な学びの醸成を目的に運営する「+R個人奨励奨学金」に資金を提供し、主体的な活動に取り組む学生の成長を支援することに力を注いでいる。15年度にはインドのスラム街で、子供たちが描いた絵をインターネットで販売し収益金を還元する自立支援活動に取り組む学生など、学生83人に奨学金を授与した。

こうした成果を可視化して、寄付者に意義を実感してもらう広報活動に注力したところ、少しずつ協力の輪が広がり、15年度には延べ約4700人から3千5百万円の寄付が集まった。20年度までに10億円を集めることが目標だ。

寄付全体からみれば、ほんの一部だが、新校舎の建設など施設整備費の確保が中心になりがちな私立大学の募金活動において“ハコモノよりヒトへの支援”に共感する校友が増えていることを実感する。

この経験を受け、校友会は16年2月、未来人財育成基金の5つの活用プランを機関決定した。(1)海外留学支援(2)成長支援(3)課外活動支援(4)研究支援(5)施設整備支援一で、いずれも母校の改課題に沿ったものだ。現在、経済的な理由で海外留学を断念せざるを得ない学生の背中を押す海外留学支援奨学金など、プランの具体化に向けて母校と調整している。

私たちの夢は、寄付文化が乏しい日本に「循環型の後輩支援文化」を根付かせることだ。単に学生に奨学金を授与するだけでなく、その後の丁寧なコミュニケーションを通じて、校友会の支援で成長を実感できた学生たちが、卒業後は校友として母校の後輩を支援する。そんな循環を確立できれば私立大学の学びはさらに豊かになる。

大学の所属は数年間だが、校友会は一生だ。母校を支援する校友を増やしていったら、後輩学生支援を通じて次代の校友を育成することが、私立大学校友会の大切なミッションだと考えている。

平成28年度 立命館大学鹿児島県校友会 懇親会

会次第

- 1 開会のことば
- 2 来賓紹介（順不同）

| | |
|---------------------|----------|
| 同志社大学校友会鹿児島県支部 事務局長 | 小倉 正和 様 |
| 関西大学鹿児島千里会 副会長 | 時任 博幸 様 |
| 関西学院大学同窓会鹿児島支部 幹事 | 脇黒丸 陽一 様 |
- 3 来賓挨拶

| | |
|---------------------------|---------|
| 学校法人 東明館学園 東明館中学校・高等学校 校長 | 小畠 敏夫 様 |
|---------------------------|---------|

同志社大学、関西大学、関西学院大学のご来賓
- 4 乾杯
- 5 アトラクション

| | |
|-------------|---|
| Belly Dance | 木下まどか校友 (H11産社) |
| 阿波踊り教室 | 小池秀明校友 (S63経営・徳島出身)による阿波踊り指南 一緒に踊ってみませんか |
- 6 校友紹介 初参加校友紹介
- 7 抽選会
- 8 応援歌斉唱（1番と4番を歌唱、歌詞は1頁参照）
- 9 閉会のことば

写真撮影（閉会后）

閉会后、写真撮影を行いますので校友会旗前にご集合ください。
PCアドレスをお持ちの参加校友には、写真データを後日送付させていただきます。
PCアドレスをお持ちでない場合は有料になりますが、FAX・はがき等で事務局にお申込みください。

ネームプレート、胸章をご返却ください（退室時）

退室時、ネームプレート、胸章（リボン）は外してテーブルの上に置いてご退室くださいますよう、お願い申し上げます。

※ 二次会会場（希望者）
2Fアルテミスの間（入口で会費¥2,000徴収）



発行
立命館大学 鹿児島県校友会
会長 前迫 栄二郎

事務局
鹿児島市坂之上3-11-16 〒891-0150
梶井 昭広 (携帯 090-4779-0025)
TEL/FAX 099-262-4053

E-mail: kakoi_a@po3.synapse.ne.jp

* 連絡先が変わった時はお知らせください

鹿児島県校友会ホームページ
<http://alumni.ritsumei.jp/kagoshima/?newsletter=true>

で